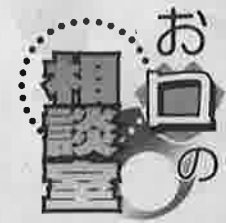


笑気吸入でリラックス



【問い】最近、奥歯が痛いのですが、「歯科恐怖症」で歯医者へ行けません。こんな私でも治療ができる方法はありませんか。
(西彼時津町、42歳女性)

【答え】以前の歯の治療時の「怖い」「痛い」「つらい」経験がトラウマになっていたり、歯を削る時のキーンという音や振動、麻酔や抜歯などの外科処置、さらには歯科治療全般が苦手だったりして、歯科医院へ行きたくないという方はたくさんいらっしゃると思います。

このように歯科治療が苦手な方には「笑気吸入鎮静法」を用いることで、ストレスなく治療を受けてもらうことができます。

この鎮静法は、酸素に30%以下の低濃度笑気(亜酸化窒素)という甘い香りのする気

体を混ぜて鼻から吸い込む麻酔法(鎮静法)です。中枢神経機能を抑制しますが、呼吸循環、反射機能は抑制しないので意識は消失しません。呼

び掛けると開眼し、開口、咬合(こうごう)などの指示や呼び掛けに反応できるように、様子を見ながら治療が進められます。

笑気を使用することで、患者さんは歯を削る音や振動、治療に対する不安・恐怖が気にならなくなり、ゆったりとリラックスした気分で治療を受けられます。その結果、痛みや緊張、恐怖などを感じにくくできるのです。また、笑気吸入鎮静法は、嘔吐(おうと)・反射が強くて治療に支障を来す方にも有効です。

笑気は全身麻酔と違い、体からの排出がとても速く、吸入を止めるとすぐに回復(覚醒)します。治療終了後は食事や車の運転を制限することがなく、通常の治療と同じように帰宅可能です。副作用もほとんどなく、非常に安全です。また、健康保険の適用となっています。

この笑気吸入鎮静法については、かかりつけの歯科医院へお問い合わせください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒855-0211、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

歯の治療が怖い!

回答者
西彼時津町日並郷
おおが歯科クリニック院長

おおが
大賀 弘毅

